授業科目　高齢期障害作業療法学

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	作業
能村友紀	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

1）高齢者を取り巻く社会的問題の現状と背景を理解する
2）高齢者の心身の特性・障害を理解できる
3）高齢者に対する作業療法のプロセスを理解し、実践に必要な基礎知識・技術を習得する

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1.老化について説明できる
2.老年期の身体的特徴を説明できる
3.老年期の心理的特徴を説明できる
4.老の受容、死の受容、老年期の発達課題について説明できる
5.老年性疾患、障害を説明できる
6.リスク管理について説明できる
7.作業療法計画に必要な高齢期障害に関する評価の手段を列挙、説明、実施できる
8.高齢者に必要な社会資源を列挙できる
9.高齢者に対するリハビリテーション、OTの役割、OTのプロセスを説明できる
10.具体的ケースに触れ、作業療法のプログラムを立てることができる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	少子高齢社会の問題点	1	講義
	老年期の特徴(高齢者像)	4	
2	老年期の課題と障害像（身体的特徴、精神的特徴）	2.3	講義
3	老年期の障害学	5	講義
4	老年性疾患・障害	5	講義
5	リスク管理	6	講義
6	障害高齢者の評価　①身体機能評価　②精神心理機能評価	7	講義
7	同上　情報収集、問題点の抽出、評価の留意点、評価のまとめ　など	7	講義
8	高齢者支援の社会制度:改正介護保険法の内容と問題点	8	講義
9	高齢者への種々のアプローチ	9	講義
10	作業療法の実際　老化と作業療法	7～	講義
11	作業療法の実際　認知症と作業療法	10	講義
12	集団作業療法演習（１）	10	グループ
13	集団作業療法演習（２）	10	グループ
14	集団作業療法演習（３）	10	グループ

【使用図書】	<書名>　<著者名>　<発行所>　<発行年・価格・その他>
教科書	小川恵子編：高齢期作業療法学.医学書院、2004
参考書	浅海奈津美、守口恭子：老年期の作業療法. 三輪書店、2003. 植田孝一郎，他：痴呆性老人のための作業療法の手引き，ワールドプランニング，2004
その他の資料	高齢者のための知的機能検査の手引. 大塚俊男他. ワールドプランニング、2001 随時紹介

【評価方法】
出席点　10%
レポート・発表20%
期末試験　70%

【履修上の留意点】